

## 甲斐市議会改革特別委員会会議録

1. 開催日時 平成26年1月14日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（7名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	山本今朝雄君
	松井豊君		清水正二君
	猪股尚彦君		池神哲子君
	保坂芳子君		

議長 藤原正夫君

### 欠席委員（なし）

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中村宗和	書記	小澤明
書記	松井恵美		

### 議題

- 1 「市民と議会の対話集会」について
- 2 その他

開会 午後 1時27分

○書記（小澤 明君） 議題に先立ちましてお配りしてあります資料のご確認をお願いしたいと思えます。

本日の議会改革特別委員会の次第でございます。続いて、平成25年度「第2回 市民と議会の対話集会」報告書でございます。続いて、平成25年度「市民と議会の対話集会」アンケート調査結果報告書で、こちらの内容はコメント、これから皆さんご協議いただくわけですけれども、中で昨年との比較の数字も出てきますので、参考として平成24年度の議会と市民の対話集会のアンケート調査の結果報告書も一緒にお配りしておりますので、こちらのほうは後でまた参考にごらんいただきたいと思えますので、よろしくお願ひします。資料につきましてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○書記（小澤 明君） よろしければ、これから議題のほうに入らせていただきます。

それでは、進行につきましては内藤委員長に進行させていただきます。

内藤委員長、よろしくお願ひします。

○委員長（内藤久歳君） ただいまの出席委員は6名です。定足数に達しておりますので、これより議会改革特別委員会を開会します。

なお、保坂委員は遅刻の連絡がありましたので報告をいたします。

本日の会議を開きます。

---

○委員長（内藤久歳君） 初めに、「市民と議会の対話集会」についてを議題といたします。

まず初めに、「市民と議会の対話集会」開催時の質問への対応についてであります。当日の報告書を記録係に作成していただきました。この中で未回答事項がありました。

それでは、事務局から報告書に基づき、未回答部分についての報告をお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） それでは、先ほどの別冊になります。平成25年度「第2回 市民と議会の対話集会」報告書のほうをお願いしたいと思えます。

今回につきましては未回答、ほとんど未回答部分ございませんで、1件だけ、竜王地区にございました。ページのほうまくっていただいて2ページをお願いしたいと思います。

記録係のほうにまとめていただいた内容に基づき報告をさせていただきます。

未回答事項につきましては、①ということで、住みよさ自治体ランキングを確認するというので、こちらが未回答部分でございました。こちらにつきましては、甲斐市は251位となっております、こちらは都市データパック2013年版のほうに掲載されている数字でございます。今回は1件だけですので、こういった形で、もうほかのほうに割り振る必要もございませんので、251位ということで調べてありますので報告させていただきます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 未回答の部分の扱いをどうするかということでございますが、今、事務局の説明のとおり、1件ということでございます。そんなような中で、今回こういう形で報告をしていきたいと思っておりますけれども、よろしいでしょうか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。記録係がこんなこと言っちゃあ、ちょっと落としちゃったからですけれども、この251位というものが自治体の数が全体的にわからないと、一般市民が見たときに、この数でいくと上なのか下なのかわからないと。だから、自治体の数を入れた中で、このランキングを入れたほうがいいのかと思うんですけれども、すみません。記録係がこんなこと言ったらいかなんですけれども、よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 今の猪股委員の、私もちょっとそんなふうな思いをしました。一応ここにランキングですから、その素数というか、全体がどうだということの中でどうだということだと思っております。係長いいですか、そんな形の中で報告するというので。

○書記（小澤 明君） はい。

○委員長（内藤久歳君） ほかにご意見ございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） では、全国の何自治体中何位ということで回答するというふうなことでお願いをしたいと思います。

それじゃ、この回答につきましては議会だよりで回答するというふうなことでいきたいと思っております。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、そんなことでいきます。

次に、調査・検討事項について各地区で上がっております。調査・検討事項については、回答する事項ではありませんが、甲斐市議会として市民の声を反映させるため、協議検討する必要があると思います。前回と同じように、これらについては各常任委員会の中で検討課題とし、議会改革特別委員会が申し入れをしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、これから一つ一つの項目について振り分けをしていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

まず、竜王地区から行います。2ページになります。

調査・検討、市民に対して議会活動をわかりやすく周知する方法について検討するということでございます。これについては、周知ということで、ほかに特別に振るところがございませんので、これについては議会広報常任委員会でもよろしいかなと思いますけれども、いかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ほかにご意見ございますか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、1番については、市民に対して議会活動をわかりやすく周知する方法についてということについては、議会広報常任委員会にお願いをしたいと思ひます。

次に、敷島地区の4ページをお願いしたいと思ひます。

1、公民館の耐震化補助について、検査費も補助対象にできるか検討するは、これも所管ということで総務教育常任委員会が、この耐震化の関係の所管になれると思ひますので、公民館という範囲については総務になると思ひますので、総務ということできたいと思ひますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、総務教育常任委員会にお願いをしたいと思ひます。

それから、2つ目として、クラインガルテンを核とした活性化について、先進地事例を参考に検討するについては、建設経済常任委員会をお願いしたいと思ひますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、建設経済をお願いしたいと思ひます。

次に、双葉地区、7ページをお願いしたいと思ひます。

1 番目として、耕作放棄地の活用については研究をしていくということでございますが、これについては所管が建設経済常任委員会になろうかと思っておりますので、建設経済にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、そんなことで進めます。

次に、2 番、学校で信玄堤やドラゴンパークの展示室をどう活用しているか調査するについては、総務教育常任委員会でもよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、総務教育常任委員会にお願いをしたいと思います。

次に、赤坂地区活性化事業の事業展開について、市民に知らしめるよう当局へ要請するについては、建設経済にお願いしたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、そんな形で進めさせていただきます。

協議検討事項については、以上となりますが、ただいま決めていただいた委員会へ申し込みをしたいと思っておりますので、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、決定のとおり各常任委員会へ申し入れを行います。

以上で「市民と議会の対話集会」開催時の質問への対応についてを終わります。

次に、「市民と議会の対話集会」アンケート調査結果報告書について別紙のとおり、受付係から上がっております。この内容でよろしいか、皆さんのご協議をお願いしたいと思います。

それでは、一つ一つ行っていききたいと思います。

まず、2 ページの集計結果の回答者の性別の部分ですが、事務局より朗読をしていただきますので、お願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） それでは、2 ページの前に大変申しわけございません。訂正部分がありますので、訂正をお願いしたいと思います。

まず、1 ページの調査の対象でございます。一番上の調査の対象、こちら「議会と市民」となっておりますけれども、今回から「市民と議会」になっておりますので、「市民と議会の対話集会」参加者ということで訂正をお願いしたいと思います。

続きまして、2ページ、今から朗読させていただく部分ですけれども、こちらにつきましても「議会と市民」となっておりますので、こちらも「市民と議会の対話集会」ということで訂正をお願いしたいと思います。申しわけございません。

訂正部分は以上でございます。

それでは、回答者の性別について朗読をさせていただきます。

「市民と議会の対話集会」の参加者140人のうち、93人の方から回答をいただきました。内訳は男性が73人（79%）、女性が18人（19%）でした。無回答2人。男性が約8割と、圧倒的に男性のほうの参加者が多い結果でした。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 回答者の性別について、表現の仕方ですね。こんな形で報告したいということですが、これについてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、性別についてはこんな形で報告をさせていただきたいと思います。

次に、回答者の年代についてをお願いします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 続いて、下の部分になります。回答者の年代、20歳代が6人、30歳代が1人、40歳代が4人、50歳代が12人、60歳代以上が69人、無回答1人ということでございます。コメントとしましては、回答者の年代は、60歳以上が約7割を占め、40歳以下が極端に少ない結果となっております。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 回答者の年代についてのアンケート結果の報告でございますが、このような今、報告のとおりの表現内容でよろしいでしょうか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） この、表現はこれでいいと思うんです。ただ、ちょっと聞きたいことが1つ、いいですかね。この20歳代が前年度は1人、今年度は6人ということをおっしゃっていますけれども、これどこの地区でこの20歳代がふえているのかどうなのか、これはわかりますかね。

○委員長（内藤久歳君） わかると思いますよ。

○委員（猪股尚彦君） 面倒かな。

〔「表現はこれでいいですか」「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） あと、この年代の中で前回に比べて20歳代の6人というのは非常に希望が持てる部分で、できればこの部分も前年比6人ふえているということも、内容的にはかなり進展しているというような、若い人の前回に対してやったということを少しつけ加えていたほうがいいかなというような気がする。

〔「休憩」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、休憩にして、ちょっと休憩します。

休憩 午後 1時42分

再開 午後 1時44分

○委員長（内藤久歳君） 再開いたします。

じゃ、一応その回答の中に20歳代がふえたというか、参加者が来てよかったというような、そういうこともちょっと含めるということによろしいですか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） ここの下に、回答者年代はどうかのといううたいがあるんですけども、40歳代以下が極端に少ないということと、それは言われているとおりだと思うんですけども、若干前年度よりは20歳代が増加しているというか、ふえていますよということとをちょっとつけたらどうかなと思います。その程度でいいかなと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） じゃ、一応20歳代のことについて、一応触れておくということでおきたいと思いますけれども。

じゃ、小澤係長。

○書記（小澤 明君） それでは、文面ですけれども、回答者の年代は、前回に比べ20歳代が1%から7%とふえたが、60歳以上が約7割を占め、40歳以下が極端に少ない結果となっていますというような内容でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○書記（小澤 明君） じゃ、そのように直させていただきます。

○委員長（内藤久歳君） ご苦労さんです。

それでは、一応今の報告書は追加報告を入れまして、係長の報告のとおりいきたいと思いたいので、よろしくお願ひしたいと思いたいます。

続きまして、回答者の職業についてをお願ひします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 先ほどの20歳代ですけれども、竜王地区が男が2人、敷島地区で3人ですけれども、内訳が男2人、女1人、双葉地区が1人で、内訳が男1人ということになっております。

〔「去年」と呼ぶ者あり〕

○書記（小澤 明君） 去年は竜王地区で1人だけということで、こちらは男性の方となっております。

続きまして、ページのほうをまくっていただいて、3ページをお願ひしたいと思いたいます。

回答者の職業でございます。会社員が10人、自営業が12人、公務員が14人、主婦が11人、無職が32人、その他13人、無回答1人となっております。

回答者の職業は、60歳以上の参加者が7割を占めたことから「無職、主婦」の方々ではほぼ半数を占める結果となっております。

以上でございます。よろしくお願ひします。

○委員長（内藤久歳君） 職業の対象者というんですか、どんな職業をやっているかということでの調査です。回答結果ですけれども、これについては何かご意見ございますか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、職業についてはこの内容でいきたいと思いたいます。

次に、設問について入ります。

1番について事務局より説明をお願ひいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 1、対話集会の開催を何で知りましたか。複数回答でございます。① 広報57人、回覧板19人、ホームページ8人、知人・友人13人、その他（図書館、自治会会議、前回は来たから）が13人、無回答が1人となっております。

周知方法については、前回と同様に広報で知った方が半数以上を占め、ホームページでの周知は1割に満たない結果となっておりますということでございます。

保坂委員、後からですので、昨年度のものも一緒にありますので、こちらと比較しながら



の文書になっていますので、参考にごらんいただきたいと思います。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 対話集会の開催を何で知りましたかということの問いについての報告でございます。その報告の知ったツールですね、それは何かということですが、ここに示してありますように、前回と同様にということですが、この表現の仕方はこれでよろしいでしょうか。何かご意見ございますか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、開催の経緯はこの報告でいきたいと思います。

次に、テーマ、内容について説明をお願いしたいと思います。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 2、今回のテーマ「地域活性化」の内容についてはいかがでしたか。  
（複数回答）

よい35人、普通27人、どちらでもない10人、その他（テーマについては知りませんでした、議員の対応が物足りない、資料が欲しい等）5人となっております。無回答が16人です。

コメントとしまして、今回のテーマ「地域活性化」の内容については、「よい、普通」の評価が7割にとどまり、「その他、無回答」という評価が2割を占めています。

以上でございます。よろしくお願ひします。

○委員長（内藤久歳君） テーマについてのアンケートですが、報告の内容としてはこんな内容でよろしいか、それとも何かつけ加えるか、あるいは削除かというようなことになると思いますけれども、何かご意見ございますか。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 「議員の対応が物足りない」って、ここにはっきりと打ち出していますよね。これもうちょっと詳しく私たちは知っておく必要があるかなと思うんですけども、はっきりとここに書いていただいたということは、やはりそれなりの何か詳しく書いてあるのかなと思うんですけども、そのあたりはわかるんですか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） こちらについては、アンケートに書いていただいた内容をそのまま書き写しているだけですので、この人に聞かないと何が物足りないかはわからないと思います。  
以上でございます。

[発言する者あり]

○書記（小澤 明君） 複数ではありません。

○委員長（内藤久歳君） 松井委員、マイク。

○委員（松井 豊君） 前は全般についてやったんで、8割の方が「よい」ということだったんですが、今回は「地域活性化」ということで、希望に合わせて絞った結果として「よい」「普通」が7割ということだから、大体こんなもんかなという感じですが、そこを書く、書かないという問題じゃないんですが、意見として。

○委員長（内藤久歳君） 先ほどの池神委員の意見の中で「物足りない」ということが1人いたということですが、その内容について物足りなかったのどうかなのか、その辺のところは本人に確認をしなきゃわからないという状況ですから、これはまた、そういう意見もあったということで受けとめていくという範囲でよろしいんじゃないかと思えますけれども、いかがですか。

はい、どうぞ。

○委員（池神哲子君） これは対話集会をしているときの状況の中で物足りないと感じたのか、あるいはふだんの活動がよくわからなくて、その対応がわからないということなのか、どちらなのかなと思っていますけれども、これは対話集会の中での私たちの議員としての対応がもう少しというふうに結んだのかなと、その辺はどういうことなんですか。

○委員長（内藤久歳君） だから、今回このテーマについてのアンケートですから、恐らくそのテーマの活性化について、対する議員の答弁が物足りなかったというところを指しているんじゃないかと推測はされるわけです。テーマに対して質問、アンケートをとっていますので、そういうことだと思います、あくまでもね。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 今の件と、その「資料が欲しい」とありますよね。この資料が欲しいというのは、テーマが地域活性化だから、幅広いことですよね。だから、その中で資料をどの程度そろえるかということは非常に難しい話であって、あくまでも対話集会で市民の声を聞きたいというのも、うちら議会のほうの立場ですから、この資料が欲しいということを感じるだけでも一歩前進かなと思っています。だから、この資料が欲しいということは、ポイントを詰めてやるんだったら資料を何ぼでもそろえられるかわかんないんですけども、幅広い活性化の中で、これはできないことなんですよ。だから、これはこれで入れておいてもらえれば興味があるのかなという解釈ですから、入れておいてもらってもいいかなと思

います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、報告内容については事務局で報告していただいた案の内容でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　それでは、この内容でいきたいと思います。

次に、3番について事務局より朗読をお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君）　3番、対話集会に参加して、今後の議会・議員に求めることは何ですか。（複数回答）

情報公開25人、説明責任28人、資質の向上36人、その他としまして（全国的に注目されるような議会にしてほしい、対策立案能力、豊富なアイデア、特色ある議会づくり、住民の置かれている福祉関係等についての実態を知ってほしい、「協働」の市民へのリードを、具体的な内容が不足していた）等、12人でございます。無回答10人。

コメントとしまして、今後の議会・議員に求める事柄に関しては、回答が均一しており、その他の項目に具体的な意見を書いてくれた方がいる反面、無回答が約1割を占めています。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君）　対話集会に参加して、今後の議会に求めることは何ですかという問いに対して、こういった非常に的を射ている結果だと思いますけれども、これについては、議会として今後取り組んでいかなきゃならない大きな問題かなというふうに感じるところでございますが、これについてはまた別の形で取り組んでいく必要があるかなとは思いますが、この結果に対して、ここに報告にありますように、この内容でいいのか、それともこれに対してもう少し議会としての対応をコメントしたほうがいいのか、その辺のところ、これ非常に重要な部分ですので、ちょっとご協議をお願いしたいと思います。

松井委員。

○委員（松井 豊君）　質問ですが、「回答が均一しており」というのは、この3項目が大体同じぐらいという意味合いで言っているということですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　いかがでしょう。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） たびたびすみません。前年度との比較なんですけれども、前年度は議員を身近に感じられましたかということでアンケートをとりましたから、これは記述に出ているという形で、今年度は議員に求められることということですから、かなり厳しい意見を頂戴するという事は覚悟していたということですから、ありのままでこういう形でよいのではないかなと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） おくれてきて申しわけございませんでした。

私は3番の資質の向上というのが、結構この3つの中であるという、やはりこの資質の向上に関しては積極的に取り組んでまいりますというようなコメントは必要かなと、これはできることなので、議会全体としても取り組めるし、個人的にも取り組めることなので、具体的にこういうことをやりますとか、そういうことが出れば一番いいと思いますけれども、少なくともこれには積極的に取り組んで、そうすることが説明責任につながっていくわけですし、説明責任もできるような議員になってくるということにもつながっていきますので、やはりそういったことは積極的にコメントしたほうがいいかなというふうに私は思います。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） こちらのアンケートのほうのコメント部分でございますけれども、こちらについては、あくまでも、このアンケート結果について、どういったコメントをいただいていたかというコメントをする部分でございます。今、保坂委員さんが言われた部分については、今後の課題等のところで述べるほうがよろしいかと思っておりますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） じゃ、一応これについてはこういう意見があったということ報告するという事でいきたいと思っております。また、今後の取り組みとか課題とか、それはまた別のところで議会として対応していくというようなことにしたいと思っております。

では、この内容でいきたいと思っております。

次に、4番について事務局より説明をお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 4番、今回で2回目の対話集会ですが、今後も参加されますか。（複数回答）

する58人、しない5人、わからない30人。

コメントとしまして、前回より次回も参加するという方が、前回の8割から6割に減り、参加しないという方が前回ゼロ人から5人にふえ、わからないという方が3割を占める結果となっています。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 今度は、2回目で今後の課題というか、今後についての参加するか、しないかについての問いでございまして、こういった内容の報告でございますけれども、この報告でよろしいでしょうか。ご意見がありますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません。かなり厳しい形、結果になっているんじゃないかなと思うんですけども、要は地区によって大分ここに差があるような質問があったんですけども、地区の場合ばかり差を出しちゃあいけないんですけども、この3地区でやった中で、この数というのが「わからない」というのが大分ふえているし、「しない」というのが5人入っていますよね。前回から比べると、その辺がちょっと落ちているんじゃないかなと思うんですけども、この辺地域的に厳しいところはわかりますかね。また、行くんだったら、探しに行かなきゃならなかったら、後でいい、それは、後でいいです。委員長いいです、それは、また教えてくれれば。

結果としては、これを出すべきだと思いますから、いいですよ、これは。アンケート結果としてはね。ただ、知りたいのは今、言ったように地区別の差がかなり見えるんじゃないかなと思いましたから、これをちょっと聞きたかった。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにご意見ございますか。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） 今、猪股委員のほうからもありましたけれども、その地域別というのも、今回のテーマが「地域活性化」ですので、それに関してやはり非常に興味のあるところ、それから、直接自分の生活につながってくるような地域に住んでいる方のものは、かなり真剣にあれだと思うんですね。だけれども、違うところもあるかもしれませんよね。この対話集会のテーマの決め方とか、持っていき方も同じ傾向ではなくて、全然違う傾向というのも大事だと思うので、今後はそういったところも注意して、皆さんが飛びついてくるような課題というのを一つ一つ見つけていくことが大事かなというふうに感じました。

○委員長（内藤久歳君） 今後としては、そういったテーマの設定というか、そういうものも含めて参加されやすいテーマに取り組んでいくというようなことになろうかと思えますけれども、この内容については実際のことを報告するということですので、こんな方向でいきたいと思えますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 次に、5番について事務局より朗読をお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） それでは、最後、5番になります。今後取り上げてほしいテーマはということで、福祉が32人、教育・子育てが22人、環境・ごみ処理が30人、財政全般が27人、その他ということで、地域活性をもっと深く、防災、人の活性化、甲斐市の持つ資源の活用、期待できない（議会が本気でない）、甲斐市の将来像であるべき姿は、各地区公会堂の建てかえの問題、事前にテーマを決めておいてみんなでそのことを考えてくる、甲斐市の将来像、健康保険料が高い、幼児教育、医療補助、少子化対策、定住人口増加、市民税等の減税対策等ということで9人ございました。無回答が8人です。

コメントとしまして、全ての項目に関心がある中、60歳以上の参加者が多いせいか、前回同様に福祉部分に関する項目が多い結果となっています。

以上でございます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 5番の調査として、それぞれ今後取り組んでほしいテーマというようなことの中で、こういう形でできておりますけれども、内容については調査結果の報告ということですから、こんな方向でいいかななんて思えますけれども、何かご意見ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 前回のこれ見てますと、この円グラフのほかに年代別差というふうな仕分けがあるんですけども、今回はそういったことはちょっと無理な形なんですか。

○委員長（内藤久歳君） 前回としての、その辺は……

小澤係長。

○書記（小澤 明君） これからやればできるんですけども、今回、前回やってみたぐあいで、年代別がこれに必要なという部分もございまして、ちょっと今回この部分はちょっと割愛させていただいたんですけども、もしここも載せたほうがいいのかということであれば、またこちらのほうに追加をしたいと思えますけれども、いかがでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） できればその年代別、前回のこの中のそのグラフでなくて、その表です、表ぐらいのものがあると、中身的に年代の層別につかみやすいかなという気もするんです。できれば載せてほしいなというふうに思うんです。

○委員長（内藤久歳君） そういうご意見もありますけれども、いかがでしょうか。  
猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） この班の編成ですけれども、この中にアンケート係というのは受付係ということですよ。

〔「そうです」と呼ぶ者あり〕

○委員（猪股尚彦君） そうすると、受付係の方々が、これに対して協議はされたんですか。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 受付係の方については、アンケート結果の集計の人数だけ出していたでいて、その人数をもとに事務局のほうで、こちらのグラフのほうを作成しております。このグラフの作成した結果に基づいて、受付係の方のほうでコメントをつくっていただいて、その内容を載せておまして、特にその辺を協議いただいた経過はございません。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） であるのであれば、もうこれはアンケート係は協議した中で、こういう決め方したとすれば、それでもいいかなと思うんです。先ほど清水委員が言われたように、年代別のほうは、この真ん中のグラフは要らないとしても、表ぐらい入れられたら、その程度は入れてもらってもいいかなと思います。いかがですか。

○委員長（内藤久歳君） 今、意見はこのグラフ、表を入れるということね。

〔「下のね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 下の年代別……

〔「年代別の下の……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 下を入れるの。

〔「そう、下のグラフを、グラフは一番下の表だけでも入れられれば入れてもいいんじゃないかなと」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） これをね。いかがですか、これを入れるのか、このグラフを入れる、グラフというか、この棒グラフですね、年代別の。どっちがいいかということね。数字で、ぱっと見てわかりやすいのはこっち……

〔「結果的にグラフ、棒グラフの場合も下の表を見ると、物は同じもの  
なんですよ。だから、ぱっと見てわかるといえば表のほうがわかるか  
など、そんなにくどくは要らないと思うんです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） そうすると、もしこれを追加するとすれば、下の30代の、各年代  
の人数がここに書いてありますよね、それをやるのがいいということですか、それとも上の  
グラフのほうがわかりやすいということ。

〔「下の表だけで……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 下の表だけでいいの。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） そういうご意見もありますけれども、下の表だけでいいですか。  
猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 私も先ほど言ったように、下の表だけでいいかなと思います、入れら  
れるのであれば。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） それじゃ、例年と同じように、下の表をこれに追加するということ  
でいきたいと思えますけれども、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 事務局いいですか。

○書記（小澤 明君） はい、そのようにしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） じゃ、そういうことで下の年代別の表を入れるということできたい  
と思えますので、よろしくお願ひしたいと思います。

次に、その他ご意見、ご提案の部分になります。これはアンケートをいただいた全てが記  
載、掲載してあります。こちらについても、前回と同様に載せなくてもいいものは除きたい  
と思えますので、よろしくご確認をお願いしたいと思います。

それでは、上から1つずつ協議をしてみたいと思えます。

主な内容として、1番からいきたいと思えます。

「年配で攻撃的な意見を言う人が多くて、意見を言いにくい」という内容ですけれども。

池神委員。

○委員（池神哲子君） これを1番に持ってくるというのは大変なことですね。その「攻撃  
的」ということが余りにもちょっと強くて、もちろんこんなふうにかかれた方はそういうふ



うに感じたんだろうと思うんですけども、そうすると、年配というと、みんなが入っちゃいますね。年配というのは60代、70代。

私は参加してみて、攻撃的というようなことは感じなかったんですけども、その方には攻撃的というふうに思ったのかなと思うんですけども、これはややとか「攻撃的」というのは、このまま使っていいのかなという、ちょっとそのあたりの言葉遣いはどうなんでしょうね。この方はそういうふうに感じたので、これを書く必要があるかなと思ったんですけども、1番にこれを持ってきて、ありゃと思ったんです。

この攻撃的というのは、どういうことを攻撃的と言っているのか。体制に対して批判的というのはどこであっても構わないし、当然その意見は大事な意見だと思うんですけども、攻撃的というのは、ただ、攻撃で通して行って、切磋琢磨してよりよいものに持っていくんだというふうにはとられないというふうになってしまうような感じも受けないでもない、何か議会さんに対して非常に攻撃に思っている人がいるということにも感じ入ることもあるのかなと思うし、ちょっとこの言葉は強いなというふうに思ったんですけども、どうでしょうか。書いてあるから、しょうがないといえばしょうがないんですけども。何かこのように、この1行だけで終わっているんですか、これは。

○委員長（内藤久歳君） これは原文のままですよ。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員（池神哲子君） それだけしか書いてない。

○委員長（内藤久歳君） これは係長、原文のままですよ、これ。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） こちら原文のままで、「年配で攻撃的な意見を言う人が多くて、意見を言いにくい」という方は20歳代の方の意見でございます。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、確認なんです。これは、対話集会の中の感想ということですから、取り方というと、その対話集会の感想を20歳代の方が意見で言ったということ、今の説明でわかるけれども、何かこのまま書かれると、議員の中の年配の議員が攻撃的に対応しているから言いづらいというような対応をとられる。それはやはりこのまま書かれると、そう捉えられちゃうんですけども、その辺はいかがですかね。

○委員長（内藤久歳君） 多分そう……

〔「俺はそうとったよ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 私もそう感じたから……

〔「これは参加者……」「参加者の中の人の意見がこれということだけ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） そうそう。

〔「他人の意見」「そうだと思いました、私は。参加した人の中で年配者の方がいて」「だから、ここは議員が説明が少し攻撃的だと、ある程度とれた」「説明じゃないんじゃない、これ、いや、議員はおとなしかったような気がするんですね、私は。参加した中でやはりそういう人の意見があってってというふうに私は感じましたけれども、これ、『多くて』ってなっていますから」「ちなみに……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 回答は……

○委員長（内藤久歳君） マイク。

清水委員。

○委員（清水正二君） すみません、どこの会場かわかりますか、地区。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） こちらは竜王地区でございます。ここの文章の頭のところにもありますけれども、「たくさんのご意見・ご提案をいただきました」ということで、こちらに掲載する内容ですので、その辺も考慮の上でご協議をいただければと思いますので、よろしくお願い致します。載せるもの、載せないものについて。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） これ参加者の中でということを一言入れれば、あれじゃないかな、誤解がないんじゃないかなと思うんだけど、いかがですかね。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） この中で、今からこの中へ載せるもの、我々として載せるものをこの中をもってピンナップしていくわけですね。

○委員長（内藤久歳君） そうそう。

○委員（清水正二君） ですから、一つ一つをこうやっていくんじゃないくて、一応この中、全体をいって、どれかというふうな、どれを絞り出すか、抽出していくかという形のほうが話としてはいいかなと思うんですけれども。

〔「全部は大変」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） いや、だから、全部は大変だから、一つ一つ入れるものは入れる、消すものは消す。結局、最終的にざっといっても、一つ一つ、これはどうするのという格好でやっていかないと、結局、だから、例えばここで一旦休憩をして、さらさらっと見てもらって、これは要らないというような意見を出してもらって、絞り込んでやるのか、時間がかかっちゃうんですね。

ちょっと休憩します。

休憩 午後 2時14分

再開 午後 2時46分

○委員長（内藤久歳君） それでは、再開をいたします。

今後の活動の参考にするための内容の確認ということでございますけれども、46件あるわけですが、この中で削除するもの、あるいは一部文言を変えて内容的にやるのか、その辺のところを先ほどの休憩の中でそれぞれご検討いただいた部分もあろうかと思っておりますけれども、それについてご意見を伺いたいと思っております。

山本委員。

○委員（山本今朝雄君） これはもう私の意見ですが、この内容を見ますと、ダブっているというか内容が似たの、それから、AとBをうまくまぜ合わせればうまいような意見になるなという文言もありますので、意見・提言ですから、なるべく多くのものを吸収してやったほうがいいと思うんですね。その辺はそんな方法もとったらどうかと思います。私の意見です。

○委員長（内藤久歳君） 今、そのようなご意見もありますけれども、進め方としてはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） あと、皆様方の中で具体的に、もうこれはいいじゃないかという、削除してもいいじゃないかというのがあったら挙げていただいて、それを集約していくというふうなことで、いずれにしても番号が上から下じゃなくて、ここで番号順じゃなくてもいいですから、全体の中で、これは要らんじゃないかという意見があったら、先ほど検討して

いただいた部分があるかと思しますので。

池神委員。

○委員（池神哲子君） 余り時間かけても何ですけれども、ただ、自分の思うことをちょっと言わせていただきながら、みんなでまとめていけばいいかなと思うんですね。だから、1番は要らないとみたいな、2番、3番は一緒にいいと思うんですね。これは世代ごとにということになっているわけですから、同じこと言っているのだから、これは1つにはできるなって、言葉をうまく集約すれば。

例えば、4番とか5番というのは、そんなに必要ないんじゃないかなって、「予約制」というのは、やってもかえって集まらないしとか、「パイプ椅子」とかいうのは個人的なあれかもしれないし、このあたりは何かどこかに入れてもいいんだけど、前面に出してもいい問題じゃないと思うんですね。

6番は必要だなと私は思います。「政策を研究する集まりをつくってほしい」というのは大変まじめな意見だし、これは私たちがこれから考えていかなければならない問題だなと思うので、こういうのは入れてほしいなと思うんですね。

9番の「市民と議員の話し合いの場が余りにも少ない」というような、これに同じようなのでやっているのだから、8番の「テーマを」というのは、その当日の議会の持っていき方なので、これはちょっとまだここで書かなくてもいいと思うし、「飛び込んでほしい」とかというのは、9番に代表されれば9番の意見をここで出せばいいしということで、11番、12番は、これはもう必要ないと思うし、それから、13番はちょっとこれはちょっと何か書きづらいし、これは余り要らない、私は。

それから、14番は地域の活性の意見が少ないというようなこともあるので入れたほうがいいし、あと15、16は大事かなと思うんですね。

それから、特に「教育関係で酒類を用いるのはどうか」とかっていうのは率直な意見だなと思って、「大貳」の焼酎に対してというのは、これはおもしろい意見だなと思っているので入れたほうがいいかなと思ったり、「我々の意見提案がどれほどとってもらえたか、次回が楽しみです」というのは大事なテーマだと思います。これと同じようなものがちょっとつながっていけばいいなというふうに思って、ずっとやった。あと20番が必要かなと。そして、次が22番のやはり竜王駅に対する要望が強いと、23番がそのイベントに頼り過ぎるのはよくないというようなことを私たちが考えなければいけないので、これは入れてほしいと思いますし、24、25あたりは今後の私たちのテーマですので大事だし、あと27、29、30、

そのぐらいで、あと37という感じです、私は。

それで、次の9ページの41番の子供たちの食育についての地産地消とか、それから42番、これは「竜王駅に人が集まるような対策をとっていただけるよう期待している」という駅周辺のことや、44番と45番は私たち議会がもっと考えなきゃいけない問題なのではないかと、ということで終わったんですけども、私はそんなふうに思いました。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 池神委員の言っていることはわかりますけれども、僕が気がついたところでは、2つの項目を1つに絞るということ、2番、3番はいいかと思います。あと、例えば10番、11番とか、こういう幾つか同じようなことを言っているところは要らない面もあるかと思っています。

ただ、1つ、12番の「合併後9年経過したが、統一感がおくれている」ということは、これは活性化につながる問題ですから、特にここ10周年を控えているから、これは1つ入れておいてもいいんじゃないかなと思います。

これと、大変厳しい意見、市長に対しても大変厳しい意見が入っているということあります。先ほど言われた、次のページですね。8ページの27、28あたりは要らない。26、27、28ぐらいですね、これ要らないんじゃないかなと思います。

それから、32番も僕は要らないんじゃないかなと思うんですけども、そして、33番、「とても参考になりました」ということは、これはあえて入れなくてもいいんじゃないですかと思います。

それと、気がついたところは、あと1点ですけども、今度は9ページの給食の食育の問題ですね。これについては活性化の問題に引っ張ってつなげればつながるというところもありますけれども、あえてこれをここへ、意見として入れるなら入れてもいいけれども、ここに必要かどうかということを感じます。その程度です。

○委員長（内藤久歳君） ほかにご意見ありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、今、2人の方からご意見が出まして、具体的にもう要らないという部分が出てきましたよね。だから、その点を、まずお二人のご意見を絞り込んで、その過程の中で、また何かがあったらほかの委員の方のご意見を伺って絞り込んでいきたいと思っています。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、池神委員の先に、とにかく上から要らないという削除してもいいんじゃないかというところがあったら、1番は要らないというご意見だったですね。その点についてどうですか。削除してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　要らないですね。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、1番削除。

次、池神委員、言ってください。

○委員（池神哲子君）　2番、3番を一緒にされたらどうですか、「世代ごとに集会を分けてはどうか」というところで、「違和感がある」というふうに言っていますよね、これ。

「20歳代からの感覚からすると」というのは、これ一つの文章にすると、「世代ごとに集会を分けてはどうか」という、これだけだとちょっと伝わらないかと思う、3番が。

○委員長（内藤久歳君）　松井委員。

○委員（松井 豊君）　3番はちょっと言っていることが、いまいちわからんと思った。この年代をばらばらに分けたじゃ、とても集会にならないんで、2番でくくっちゃってもいいのかなという感じがしますがね。

〔「そうだね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、2番削除ね。

〔「いえ、3番」「2番は残す。3番は要らない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　3番を削除……

○委員（松井 豊君）　うん、削除して、年代ごとといえはなんとなくわかりますけれども、この3番はこんなに細かく分けたとかいうのはなかなかあれなんでという感じですかね。

〔「世代ごと」というところだ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　小澤係長。

○書記（小澤 明君）　参考ですけれども、こちら2番、3番、同じ方の意見でございます。つなげて書いてあったのを分けただけです。

○委員長（内藤久歳君）　清水委員。

○委員（清水正二君）　とりあえず2番を採用ということで、3番を……

〔「そうだね」と呼ぶ者あり〕

○委員（清水正二君） ええ、したほうがいいと思います。同じ人の意見であれば、なお。

○委員長（内藤久歳君） ちょっと休憩します。

休憩 午後 2時56分

再開 午後 2時57分

○委員長（内藤久歳君） じゃ、再開します。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） すみません、委員長。この2番、3番、同じ人が言っているということは、この「世代ごとに集会を分けたらどうか」、「また」を入れて、そういうふうに違和感を感じたということまで入れたってつながるんじゃないかと思うんですよ。どうですか。1人の意見だとすれば、世代、これは2人の意見だとなると、「また」なんてことを入れたらおかしいけれども、1人の意見とすれば、この「どうか」の次に「また」を入れて、そういうように「20歳代の感覚からすると」「違和感を感じた」ところまでつなげちゃってもおかしくないと思うんだけど、いかがですかね。

○委員長（内藤久歳君） 休憩します。

休憩 午後 2時58分

再開 午後 3時00分

○委員長（内藤久歳君） 再開します。

じゃ、一応いろいろなご意見があるようですが、「世代ごとに」ということでいきたいと思います。じゃ、3番を削除します。

ほかに池神委員のご提案で……

○委員（池神哲子君） 6番の「政策を研究する集まりをつくってほしい」というのは……

○委員長（内藤久歳君） 削除するものを言ってください。

〔「削除」「4、5は削除」と呼ぶ者あり〕

○委員（池神哲子君） 4、5。

- 委員長（内藤久歳君） 4、5は削除というご意見ですけれども、よろしいですか。  
〔「はい」「その事前予約制というのは要らないということですね」  
「要らない」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） ほかに、削除。  
〔「4番、5番」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） 4番、5番ですね。次に進んでください。  
〔「6番の」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） 入れるのはいいです。削除するのだけ言ってください。  
〔「じゃ、8番」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） 8番は削除するということですか。  
〔「8番、10番、11番」「7番とかは……」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） そうですね。  
〔「前にあった」「じゃ、これ7番必要ですかね」「だめなところは」  
「そうです」「じゃ、15番……」「テーマを絞り込みながらやる」と呼ぶ者あり〕
- 委員（池神哲子君） 「テーマを絞り込んだほうがよい」というのは必要ないと思うんですね、これはね、そんなのはもうちゃんとやっているんだから。  
〔「いやいや、そうじゃない。そういうふうに感じたんだから、これでいいんだ」「そうなの」と呼ぶ者あり〕
- 委員長（内藤久歳君） ちょっと待って、今、池神委員が言っているから、そのことに関してではあれするけれども、池神委員、ほかにいいですか。
- 委員（池神哲子君） 4番、5番要らないというのはいいんですね、もう。
- 委員長（内藤久歳君） ええ、もうそれは決まりました。
- 委員（池神哲子君） いいですね。要らないのを言っていくの。
- 委員長（内藤久歳君） そうです。
- 委員（池神哲子君） 7番、8番、やり方の問題だから、ちゃんとやっていける。7番、8番は私は要らないと思う。
- 委員長（内藤久歳君） 7番、8番は要らないというご意見ですけれども、いかがですか。  
猪股委員。
- 委員（猪股尚彦君） 8番に関しては、「テーマを絞り込んだほうがよい」ということは、



これは地域活性化を今度は今回のテーマにしたんだけど、市民に対してはそういうふう  
に感じたということであれば、今後の一つの方向性、これは入れておいても別に支障はない  
と思うんですけども、入れるべきだと思います。

○委員長（内藤久歳君） という話です。

清水委員。

○委員（清水正二君） 自分も同じように思います。今回の要するに、活性化についてはテー  
マに対する意見ですから、そういうことをやはり載せたほうが良いと思うんですね。

〔「いいです、それはそれで」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、採用することにします。

ほかには。

〔「9番と10番って同じなんですよ」「7番と8番、順番にいったら」「9番と10番はどっちかにしたほうが良いと思う。飛び込んでほしいというのと、少ないから飛び込んでほしいということになっているんだと思うから」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 7、9、10というのは関連性がしているのかな。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 7、9、10はどうも似たような感じなんで、1つか2つに絞り込んだほうが……

〔「9番だけにして」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 7、9、10を一括ということで、この中でこの3つを……

〔「1つに」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 1つにするということだと思いますけれども、どのご意見を採用しますか。

〔「9番だけ」「7は要らない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 7、9、10の中では9でよろしいですか。

〔「はい」「いや、ちょっと待ってください。9番ってさ、対話集会のことでしょ、これ、市民と議員の話し合いの場、やっているわけだからさ」「やっているのに、また書くの」「これじゃ、少ないと思っているんでしょ」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 中身としては、その7、9、10で、11まで多分この中に、この共通した意見だと思うんですけども、これでいくと7番、1つでもって「活気、市民との近親感がある議会」というのを、この意見を取り入れれば、話し合いの場が少ないということも、市民の中に飛び込んでほしい、このカラーというのも、それも一括して、その中に入るんじゃないかなと思うんですけども、そうすれば7番を残して10、11がいい……

〔「9、10、11」と呼ぶ者あり〕

○委員（清水正二君） 9、10、11をカットすればいいかなというように思いますけれどもね。

〔「それでいい」「賛成」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） そうします。じゃ、7、9、10、11は同一内容ということで、それを含める文言ということで7番を採用します。

次、ほかに。それで、12番は採用ですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） あと、次、13番から20番ぐらいまでの中で池神委員、何か。

○委員（池神哲子君） 私も13番、13番も入れると、ずっとみんな入れていくようになっちゃう、「個人情報保護法で地域の住民の情報がつかめなため」、だって、これやっているんだよ。「災害等は言うまでもなく、日常も孤独死等の問題をどう対処すればよいか、市の条例等」これ残しますか。

〔「いろいろな問題があるから」と呼ぶ者あり〕

○委員（池神哲子君） 13番、残しましょうね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員（池神哲子君） 多いみたいだから。

○委員長（内藤久歳君） あと、20番ぐらいまででどうですか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 18番の「私利私欲」というのがよくわからない。

〔「どういう意味なの」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 18番、削除します。

20番まででほかにご意見ございますか。

清水委員。

○委員（清水正二君） 20番ですけども、「テーマについて多くの意見・要望があったが

テーマ以外の意見もあり」というところで、「広報等できちんと通知しておいたほうがよい」という意見なんですけれども、これやっているんで、ただ、それは見ているか見ていないかの問題であって、意見としてはちょっと今回には当てはまらないと思うんですよね。

○委員長（内藤久歳君） では、削除します。

じゃ、20番までは、12番から17番まで採用、17番はどうしますか。

〔「やはりよかったというの必要だから」「そうですよね」「うん」  
「中にはあっても、そういう意見というのは」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） この7ページの1から20までで生きているやつを、ちょっともう1回確認してください。

〔「生きている……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 残すものという、多分残すものと……

〔「番号でいきましょう」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 番号で、はい。

〔「15番生かす」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） いやいや、上から。

〔「上から」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 順番に。

〔「そういうことは委員長が」「委員長が言うんですか」「言えればいいこと」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、7ページの確認をします。

採用、2番、6番、7番、12番……

〔「8番は」「8番」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 8番、12番、13番、14番、15番、16番、17番、19番は……

〔「入れます」「19番入れる」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 入れるんですね。

以上です。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、それで確定します。

では、8ページに移ります。

8ページで、先ほどの意見の中で削除したほうが良いという意見が26、27、28というご意見があったんですけども、これは削除でよろしいですか。

[「いいです」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） あと、32、33も削除したらという意見がありましたけれども。

[「要りません、これ」「32、33は要らない」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） 要らないですね。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） 37番もありましたけれども、いかがですか。

[「要らない」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） それでは、8ページは今それだけの削除するところを今、確認できましたけれども、21から38番の中で、このほかに削除すべきものがあつたら検討をお願いしたいと思います。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 36番については、これどういう内容なのか理解しがたい。

○委員長（内藤久歳君） そうですね。

○委員（猪股尚彦君） 入れていいのかどうなのかね。

○委員長（内藤久歳君） これ個人的な要素が強いですね。

清水委員。

○委員（清水正二君） 私も36番、内容的に「私に関係した課」というふうなことなんで、特定されている部分なんで、ここの意見としてはふさわしくないかなと思います。

○委員長（内藤久歳君） じゃ、36番を削除します。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 冒頭の21ですが、この「パブリックコメントの受け方」というのが、ちょっと意味がわからない。

[発言する者あり]

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） 今の21番ですけども、これはどうなんでしょう、意見として「活発な意見に驚かされた」という意見が貴重な意見だと思うんですけども、その「パブリックコメントの受け方」というのも、この受け方をこれだけのことだから意見としてだけれど

も、削除して載せるという形でどうですか。

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 清水委員と同じような意見になりますけれども、これ「パブリックコメントの参考になりました」でもいいんじゃないかなと思うんだけど、「受け方」よりは。「パブリックコメントの参考になりました」で。「受け方」というのは、ちょっと違うんじゃないかなと思うんだけど、本人が書いて出したものをいじくっても悪いんだけど、この辺はそういう解釈で載せてもいいんじゃないかなと、評価はされているよということですからね。

○委員長（内藤久歳君） 「パブリックコメント」という文言を入れて、「パブリックコメントの受け方」、あり方……あり方が参考になった。だから、この書いた人はパブコメということが自分がわかってよかったということを言おうとしているんですね。パブリックコメントということは、広く市民に意見を求めるということがわかったという意味合いだと思うんだよね。その辺の文言はうまく……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） じゃ、これについては、一応このことは入れるということで、この「受け方」の部分については、事務局のほうでうまい文言を入れてもらって、この思いが伝わるような格好で、ここをちょっと一部修正ということで。じゃ、21番は採用ということで行きたいと思います。

そのあとはいかがですか。採用でよろしいですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） これは、まあそういう……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 22、23はオーケーね。24。

〔「24番は入れていいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 25番。

〔「25番はいいですね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 採用。

それで、6、7、8は削除。29番はどうですか。

〔「入れたほうがいいんじゃないですか」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 採用でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 30番。

〔「様は要らないよな」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 「様」は削除。いやいや、議員「様」は削除して……

〔「様を消しましょう。それで採用」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） はい。31番。

〔「これはおかしいかな」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） これは削除しましょう。31番は削除。32、33が削除で、34番。

〔「これはいいんじゃない」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか、じゃ、削除。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 難しいですね、条例までしてやれるかという、一応そういう自治会の問題については加入率の向上という部分もあるから、意見として伺うというところで、じゃ、採用しましょう。

35番。

〔「いいんじゃないでしょうか、これは」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 35番が採用で、38番。

〔「38は……」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 「よかった」は入れますか。

じゃ、8ページの確認をします。21番は一部修正をして採用、22、23、24、25まで採用、26、27、28削除、29、30採用、31、32、33削除、34採用、35採用、36、37削除、38採用ということできたいと思いますが、よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 次に、9ページにいきます。

この中で事前に言っているのが43と46が削除というご意見があるようですけども、どうですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 先ほど言いましたけれども、41はいかがなものでしょうかね。これは別に、ここでこういうことを取り上げる必要もないかと思うんですよ。これは恐らく敷島

地区なんですよ。そうすると、これは活性化に関する質問じゃなくて、言っていることはわからんじゃないけれども、ここで取り上げる必要はないと私は思いますけれどもね。

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、削除します。ほかには。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　削除、ほかには、削除を言ってますから。

〔「46は要らないね、これ、46消しましょう」と呼ぶ者あり〕

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　46番はどうでしょうか。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君）　今の46番ですけれども、甲斐市では3地区で分かれてやっていますけれども、南アルプスですか、参考にさせてもらったところでは議員のいない場所に出向いてやっていったということですよ。今のあり方もそのまま続けていくのかどうなのかという事は、委員会の中で協議していかなきゃならない問題であって、あえてここで「細かく」とか、そういうものは要らないと、今後の問題は我々が協議していく問題であるから、ここは削除していいかと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君）　そういうご意見もありますから削除でよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、削除します。

このほかに……

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　いやいや、ちょっと待ってください。今、9ページのことに確認をしていますので、またそれはその次の段階でやりますから、9ページについてはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　じゃ、9ページの確認をしたいと思います。

39番採用、40番採用、41番削除、42番採用、43番削除、44番採用、45番採用ということで確定をしたいと思います。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君）　それでは、最初からいいですね、あとは事務局のほうで一応確認し

ていただいておりますので、一応各ページごとの削除と採用の協議を終わりたいと思います。

次に、10ページになります。

今後の課題をまとめていただいております。事務局より朗読していただきますので、お願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 今後の課題でございます。

前回の反省を踏まえ、開催時期を11月にしたにもかかわらず、参加者は、前回（146人）とほぼ同数であり、参加者も60歳以上が多数を占めた中、若干であるが、40歳以下が前回よりふえたことは喜ばしいことである。今後、全体の参加者をもう少し増加させる工夫が課題である。

テーマに関しては、参加者個人が関心のある事柄がばらけている中で、「地域活性化」というテーマから離れた意見等が多かったので、事前にテーマの内容を示す等、浸透させる工夫が必要であると考えます。

議員、議会に求めることについて、さまざまな具体的な意見をいただいたので、それに対しては、どのように取り組むべきか議会として議論するとともに、無回答が1割を占めたことも関心がないあらわれか検証する必要があると考えます。

今後の参加について、「次回は参加しない」というのが、前回のゼロ人から5人になったことについて、何が原因で参加しないのか、あわせて「わからない」が3割もいることについて、原因はテーマにあるのか、それとも運営方法にあるのかを検証し、今回2回目を開催したことに満足することなく、市民との本当の対話とは何かを議論していく必要があると考えます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 全体を通して総括といいますかね、今後の課題ということでまとめていただいておりますけれども、この今後の課題のあらわし方について何かご意見等がありましたらお願いしたいと思います。追加、削除、あるいは新たな意見。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 文書にすることではないんですけども、ちょっと気になったのは、前、1回目のときは結構職員も顔を出した方がかなりいたんで、今回はその辺はどうだったのか、余りちょっと……

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。



○書記（小澤 明君） そちらについては、アンケート結果3ページをごらんいただければと思います。公務員が14人、こちらがほぼ職員ではないかと思われま。ちなみに、昨年は職業別で公務員が12人でございますので、昨年とそんなに変わらないような状況だと思います。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） 松井委員。

○委員（松井 豊君） 昨年、無回答というのがなかったんだけど、設問の仕方が変わったのか、それとも今回随分無回答が目立つところがあるからちょっと気になるんですが。

○委員長（内藤久歳君） 小澤係長。

○書記（小澤 明君） 昨年も、こちらの設問の下の結果、集計結果については無回答という部分は入ってございました。しかし、表のほうに入れてありませんでした、ほかのこういったグラフにする際の様式を見ると、無回答も入れているというのが正確なようでございますので、今回から申しわけないんですけども、新たに無回答というのを正式に入れさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

課題の表記については、こんな形でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） あと何か、ほかに課題として上げるべきことがあるかどうか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 課題に、文書にするかどうかはちょっとあれなんです、今回この活性化について無回答が17%で2割近くいたということ、前はそれほどでもなかったんですが、テーマを絞ったことによって、そうなったのかがちょっと気になるんですが、文書的にどうするかはちょっと俺も何とも言えないんですが、どうでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 何か例えばこういうところをこうしたらいいとか、こういう文言を追加したらいいとかという、そういう私のほうで聞きたいんですけども、そういう意見等があったら、その前に一応この原文に対して何か修正、削除、追加というようなことがあったら、まずお願いをしたいと思います。

池神委員。

○委員（池神哲子君） この原文、このとおりでよくまとまっていいなって私は今後の課

題、いいと思います。

それで、さっきお話し合っていたのは、今後、市議会ともちろん市民の対話集会なんですけれども、私たちは市議会だけで結論出せることもできずということもありますので、行政執行側も一緒に同席してもらおうというか、何人かいらっしゃるといことなんですけれども、そのあたりを課題の中で入れたほうがいいのかと、もうちょっと多くいてもらいたいというか、すぐに執行部側がいて、そのことに回答ができるような状況がつけられるといいかなと思っているんですけれども、そのあたりはどうなんですか。よくわからないんですけども、そういうこともあっていいかなと、今後の方向として。

○委員長（内藤久歳君） ちょっと待ってください。今、この課題についていいかどうかということ今、議論しているので、それでよければ、そういったご意見も伺っていきますけれども、これについていいか悪いか。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） この内容で課題としては、このアンケートの中においても、対話集会の中においても、課題として挙げる部分が全て挙げてあると思うので、私はこの文面でいいと思います。我々の課題としては、またこの中から、また次の対話集会の中にテーマの絞り込みであるとか、そういった課題を挙げてあるわけなんで、こういった形でいいかと思いません。

○委員長（内藤久歳君） じゃ、課題についての話し方というか方向については、こんな形でいきたいと思います。

保坂委員。

○委員（保坂芳子君） この課題はやはり事務局の方が一生懸命考えてつくっていただいたというような感じで……

○委員長（内藤久歳君） いや、記録係。

○委員（保坂芳子君） 記録係、そうなんですか。何て言うんだらうな、自分たちがこうしたというような感じが、記録係が書いた、受付で書いたということですので、もうちょっと私たち活性化で話ししていますけれども、全協でも全員の意見もいただいた中で課題というようなのも考えていったほうがいいかな、私の感想では具体性にちょっと欠けるというか、さっき私は資質の向上とかというのをあつたというの、これは別に入っていないし、それはそうですよね。このアンケートをまとめたということについての課題ということで書いて

いますので、私たち議会とか議員のあるべき姿のことというのをどこかにこれが出すのであれば、対話集会やっていっても、だんだんみんなあきてくるかなという感じがするんですよ。もうちょっと甲斐市議会としては、これをこういうふうにやっていきますよみたいなのが、例えば人がかわったとしても、今度改選があつてかわったとしても、そういうものが出てこない、何か物足りないという感じがしますけれどもね。大変自分もやっていて、主体者の割には非常に何かちょっと責任がない意見になっちゃって申しわけないんですけども、そういう感じを受けるんですよ。

いや、これはそのまとめた人がどうじゃないんですよ。やはりそのまとめるのには、もっと全員がかかわったんだから、全員で1回はちょっとやったほうがいいのかというような感じがしたんですよ。その方に係だからってお任せしちゃって、課題までその人たちのあれでやって、ただ、まとめただけみたいな感じというのでは、まとめ方としてはどうなんだろうというふうに私は思いました。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） これについては、それぞれの担当の役割分担の中でやっていただきました。これを活性化の中で、この問題を内容的にこれでいいかどうかを今、協議しています。これはこれでいいという形になりました。今、保坂委員の言われているように、それを受けて今後、甲斐市議会としてこの活性化に向けてどういう展開をしていくのか、行動をしていくのか、それは今後考える問題。

それで、今後そういった問題について、じゃ、例えば具体的に先ほど甲斐市議会として資質の向上とか、いろいろ課題として挙げられている部分があるじゃないですか。その辺を今度は具体的にどういう形でやっていくかというのは、また、それに対する議会改革特別委員会の中で、じゃ、活性化に、資質向上についてはどういうことをやっていったらいいのかということ、また協議していくという形になると思うんです。

だから、ここで具体的にどういうふうにするかということじゃなくて、ここで市民から受けた意見をまとめて、課題として挙げたということですよ。だから、これは次の段階になると思うんですよ。という考え方です。

猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 今、委員長の言われたとおりだと思います。それで、これアンケートも調査書の結果ですから、突き詰めたことをここで課題に挙げる必要はない。この程度でいいんじゃないかなと。今後の問題は今後の問題で議会として活性化ないしでやっていくこと

をテーマにしていけば、それでいいかと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） はい。

○委員（池神哲子君） 私もこの最後の文章にととも、「原因は『テーマ』にあるのか、それとも『運営方法』にあるのかを検証し、今回2回目を開催したことに満足することなく、市民との本当の対話とは何かを議論していく必要があると考える」って、この文章にかなり網羅されているなという気がするんですね。だから、これは今後の課題かなということ、いかなって思いました。

〔「いいですか、委員長」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂芳子君） じゃ、一体どこで検証するんですか。やった人が、自分たちが検証しないで、誰にやってもらうんですか、新しい人にやってもらうんですかという議論になってきちゃうんですね。やはり結論としては、これはこれでいいですけども、じゃ、何やっていこうというのはみんなに聞いて、どうだったのという結論は、もうちょっと議会としては出しておくべきだと、次の人にバトンタッチ、何にするにしても私は思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） だから、これは全協のところで、一応議会報告は特別委員会として、これは総括ですからね、報告します、アンケート調査結果全て報告して、それに対して今後どういう形でやっていくかということは、これから先の話であって、そこで今後どうするかというところまでは行く必要はないと思います。

〔「議論していく必要ないと書いてあるの」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） だから、今その時点では、これはこれでちゃんと区切りをつけて、そこから先はどうするかということ、またみんな考えていく。だから、もしそういうご意見が全協の中であって、そういうご意見を今度は議運なり何なり取り上げて、その中で、じゃ、どうしていくかということを考えていくということだと思いますけれども。

はい、どうぞ。

○委員（保坂芳子君） やった人たちが、やってどうだったのかという結論を、そこで出さなければ、次の人にこれをバトンタッチしても、やはりわからないですよ。だから、それはしようがないことなんだけれども、何ていうのかな、具体的に見えてくるような対話集会をやりたいなというふうに思いますよね。地域活性化でどうだったのかなということに対するテーマ、運営方法どうだったということに対する結論というのは、これはまとめたというこ

とですから、皆さんに聞いて、議会側として、議員としてはどうだったのということはやる必要がある。

○委員長（内藤久歳君） 清水委員。

○委員（清水正二君） ということであれば、これは今の対話集会についての課題ですから、このものはいい。課題が出て、今、言われるであれば、またこの議会改革の中で、要するにこれに関しては、総括という形の中のものをやって、次の議論に結びつけたらどうでしょうかね。今ここでは課題として出た分をここで議論しているわけで、いわゆる総括をしているわけじゃないですから、総括は総括でやるのであれば、またこの委員会の中でその場を設けて、また総括したらいいかと思います。それで今回の対話集会の総括をして、次の特別委員会のとき、次回、次期の人たちにバトンタッチするというような形をとればいいかなというふうに思いますけれども。

○委員長（内藤久歳君） 先ほどの保坂委員の意見の中で、結局その出された意見に対して、全く変じゃなくて、それぞれの、前回もそうですけれども、その課題をみんなで各常任委員会へ受けたものを振って、その中で協議もして報告をちゃんと出していますからね、そのことに対話集会の結果として何もやっていないんじゃないで、前回のときもそういう形で常任委員会でやって、方向性を出して報告をしているという形ですから、まるきりこのことに対して何もやっていないということはないで、そういう流れをちゃんとつくってありますので、ここも先ほど協議してもらいましたよね。常任委員会へお願いをして出されたものについては報告をするという、そういう部分では、きちんとした形で進めているとは思いますが、今、言うように……

〔「形はね」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ええ、形は。それで今、言うように課題として出たものを今後どうするかというのは、またこれは議会内の問題だから、市民から出されたものに対してはそういう格好で整理をしています。今度、先ほど言われたように、議会に対するいろいろな意見があったじゃないですか、30何件とか、ああいうものに関して、じゃ、議会としてどういうふうに取り組んでいくかというのは、また今後の課題として、議会としてどういうふうを考えていくかということだと思いますけれどもね。

〔発言する者あり〕

○委員長（内藤久歳君） そうですね。だから、じゃ、今、休憩じゃない、今、再開中だ。また、そういった部分については、今後の取り組みとして出された意見を各会派がまとめてい

ただいでどうするか。今、言われたようなことを活性化の中に挙げてもらって、そして、ある程度の区切りをつけるというふうな流れでいきたいと思いますけれども、別枠で進めていきたいと思います。これはこれで、この課題が見えてきましたと。それは、この特別委員会でオーケーですよという形で、これは対話集会については総括したという形になります。

○委員（保坂芳子君） 今おっしゃった各会派に持ち帰って、もう1回協議してもらって、もう1回やると。それはだから、今年度中にやるということですね。

○委員長（内藤久歳君） そうですね。

○委員（保坂芳子君） 早目に。

○委員長（内藤久歳君） 今年度中にやるということになりますね。

○委員（保坂芳子君） 一応は出すと。

○委員長（内藤久歳君） ええ。

○委員（保坂芳子君） それまでね。

○委員長（内藤久歳君） ええ。

○委員（保坂芳子君） そこまでやるということですね。

○委員長（内藤久歳君） はい。

○委員（保坂芳子君） いいんですかね、係長、それで。

[発言する者あり]

○委員長（内藤久歳君） 猪股委員。

○委員（猪股尚彦君） 活性化のやるべき仕事は、この対話集会のきょうまでの仕事でいいと思うの。だから、先ほど保坂委員が言った今後の方向性は、この活性化とここまでまとめてきたことを、今度は全議員に振ればいいんでしょう。その中で先ほど言ったことで、この活性化から全議員に伝えるべきことを1回開けば、そのときに協議すれば、それも1つだと思いますよ。それでいいかなと思います。だから、今期中にはやらなきゃいけないということは十分わかりますからね、それはそれで我々の仕事は一応とりまとめはここまでという形でいいかと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

[「やるんですね」「やるということ」と呼ぶ者あり]

○委員長（内藤久歳君） それでは、以上で「市民と議会の対話集会」のアンケート調査結果報告書についてを終わりたいと思います。

以上で「市民と議会の対話集会」についてを終了いたします。

次に、その他に入ります。

事務局のほうで何かありましたらお願いいたします。

小澤係長。

○書記（小澤 明君） 先ほどの確認ですけれども、この年度の中で2月ぐらいしかないかと思えますけれども、対話集会についての、こちらはアンケートの結果の集約ということで、今、今後の課題をまとめていただきましたけれども、改めてこの対話集会全体の総括ということで、各会派のほうから反省点、こうしたほうがよかったとかという部分を取りまとめていただいて、次回2月に再度、この議会改革特別委員会で最終的な総括というような形で開催をするということによろしいのでしょうかね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○書記（小澤 明君） 日程的には2月18日が告示日ですので、18日まではいろいろ委員会入ってきますので、18日から28日の間が委員会入ってこないんで、この辺でまた委員長、議長とも調整させていただく中で開催させていただければと思いますけれども、そんな形でよろしいでしょうか。

〔「18日以降の1週間かな」と呼ぶ者あり〕

○書記（小澤 明君） そうですね。だから、19から27の間で再開させていただく。

〔「何月」「2月」「2月の」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ということでよろしいですか。保坂委員、よろしいですか。

○委員（保坂芳子君） はい。

○委員長（内藤久歳君） 委員各位より、何かその他でございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして議会改革特別委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 3時41分